

春光まちづくり推進協議会 会議録 令和4年度 第4回

会議概要	
日時	令和5年3月24日(金曜日) 午後6時00分から午後7時30分まで
場所	旭川市北部住民センター 2階 大集会室
出席者	委員（12名，正副会長以外は50音順） 安齋会長，上山副会長，市川委員，上野委員，工藤委員，小林委員，清水委員，高橋委員，高村委員，林（綾）委員，山形委員，両瀬委員 （欠席者）石塚委員，加納委員，林（知）委員 事務局 市民生活部地域まちづくり課 成田課長，木下主査，浅沼 北部住民センター 高橋，柴原
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	事前配布資料 次第 資料1 春光まちづくり推進プログラム改訂案 当日配付資料 資料2 春光あいさつ運動事業実行委員会 事業報告書 資料3 春光スノーコミュニケーション事業 事業報告書

※「春光まちづくり推進協議会」について，本文では「まち協」と略する。

議事の内容

1 開会

開会し、委員の出席状況報告と会議資料の確認が行われた。

これ以降の議事の進行を安齋会長にお願いする。

2 検討事項

(1) 令和4年度 各委員会の事業報告について

【会長】

各委員会の事業について、順次報告をお願いします。

最初に「春光あいさつ運動事業実行委員会」続いて「春光スノーコミュニケーション実行委員会」「子どもの居場所づくり事業検討委員会」の順に報告された。

- 「春光あいさつ運動事業実行委員会」

春光3地区一斉あいさつ運動が令和4年9月30日に活動協力者65人で実施された。

<収支決算書の内容が当日配付資料に基づいて説明がなされた>

一斉あいさつ運動に関わる経費の他には、交換用ノボリ81枚と使い捨てカイロが購入された。

- 「春光スノーコミュニケーション実行委員会」

スノコミFESの参加人数は66名となった。アンケートは740枚配布した。現在の回収状況は200枚を超えた。今後はアンケートの回答を集計分析して除雪について多様な視点で考えたい。

<収支決算書の内容が当日配付資料に基づいて説明がなされた>

春光中央地区市民委員会より協賛金をいただいた。当初の予算を超過したが、初年度の事業ということもあってこの超過額は仕方ないかと思う。

- 「子どもの居場所づくり事業検討委員会」

今年度は3回検討委員会を開催した。会長、副会長、会計、監査は決まっています。

世代間交流、地域間交流を念頭に検討しており、来年度に事業を実施する予定。

【会長】

3つの委員会から説明された内容について質問やご意見はありますか。

【委員】

特になし

【会長】

スノコミ実行委員会の活動はまち協委員以外の学生も多く参加して、今後の活動が期待できる事業だと思いました。

他に意見がなければ以上をもって各委員会からの報告を受けたものとしします。

(2) 令和5年度事業について

【会長】

事務局より説明をお願いします。

【事務局】

さきほど「子どもの居場所づくり」検討委員会を令和5年度には実行委員会として立ち上げたいとお話があり、前回の協議会では「春光魅力探訪図」の制作についての発言もありました。

それらに今年度実施した「あいさつ運動事業」と「スノーコミュニケーション事業」をあわせますと4件の事業の名前があがっています。令和5年度の各事業の実行委員会活動の確認をしていただきたい。

実行委員会立ち上げに必要な条件や補助金の内容につきましては地域まちづくり課より説明をお願いします。

【地域まちづくり課】

これまでのお話から令和5年度には4件の実行委員会が立ち上がる可能性もあるということで、それを前提にした予算要求を行っておりますので対応できるものと考えております。

最終的に予算の調整については市の方で行うこととなります。

【会長】

「春光魅力探訪図」に関する委員会の設置について、前回提案をいただいた委員に説明をお願いします。

【委員】

現在の探訪図を改訂することや、現在の探訪図を利用して春光の魅力や歴史を知る企画を実施することなどを考えている。

【委員】

4件目の委員会を立ち上げるということは、現在活動している3つの委員会のメンバーをそれぞれ削って参加してもらうことになるのか？

【地域まちづくり課】

実行委員会立ち上げに関しては、まち協の委員が1名以上参加していることが条件になっているので、複数の委員会に参加していても問題はありませぬ。まち協委員以外の方が実行委員

会に参加することも問題ありません。

【委員】

「子どもの居場所づくり」検討委員会では人材を見つける手立てがわからない。色々な意見は出るのだが、そこで止まってしまう。春光地区では初めての事業なので過去の事例を参考にすることもできない。プロの方が参加してもらえたら進め方がわかるのだが、素人だけだと不安で進めづらい。

市の方ではそのような人材は提供できないのか？人材を見つけることも自分たちでしなければいけないのか？

【委員】

「春光スノーコミュニケーション実行委員会」は地域の事業として発展させるため、数年前から関わってきた案件なので、協力者は数年かけて集められました。

事業の担い手が見つからないというのは、どのような活動においても課題なので、人づてを重ねて協力者を集めていくことが大事だと思います。人の紹介などで協力できることがあれば可能な限り協力しますのでご相談ください。

【副会長】

子供の居場所づくり事業検討委員会についてですが、春光コミュニティとして各小学校のPTAと各市民委員会や諸団体で話し合いの場が持たれています。まち協は3地区の市民委員会や諸団体からご参加いただいているので、そのような話し合いの場に参加させていただくことも検討されてはいかがでしょうか？

【会長】

子供の居場所づくり事業検討委員会はここまで何度も検討委員会を開催していますので、なんとか新年度には実行委員会として活動していただけたらと思います。

各地区のあいさつ運動についてお尋ねしますが、各地区独自の活動はどうでしょうか。

【委員】

中央地区では月に一度ベストを揃えた活動を年間12回しています。

【委員】

西地区では市民委員会での活動はありませんが、地区民児協中心で活動しています。

【会長】

東地区でもあいさつ運動は日常的な取り組みとして継続しています。

あいさつ運動はここまでの活動で地域に定着したと思いますので、来年度からはあいさつ運動としての活動は、各地区におまかせするのが良いと思うのですがどうでしょうか？

あいさつ運動事業実行委員会は解散させず、必要な時に3地区合同で活動する事業について補助金申請するのはいかがでしょうか？

【地域まちづくり課】

ゼロ予算事業としてあいさつ運動事業を継続していただいて、ベストの補充やノボリ交換などの必要な時期に補助金申請をしていただくことが可能です。

【会長】

新年度、春光まち協として積極的に支援していく事業は春光スノーコミュニケーション実行委員会、春光魅力探訪図検討委員会、子供の居場所づくり事業検討委員会の3件でいかがでしょうか？

【委員】

了解しました。

【委員】

以前に作成した春光魅力探訪図はありませんか？

【事務局】

以前作成した探訪図の在庫がありますので、今配付します。

作成当時はそれを基に魅力探訪会を行い、何年かごとに加筆、改訂などを行うことも検討されていました。検討委員会が探訪図の作成、改訂などに着手する時は当時の資料がありますので参考にさせていただきたい。

(3) 春光まちづくり推進プログラム改訂について

【会長】

議題3の「春光まちづくり推進プログラム改訂について」事務局の説明をお願いします。

【地域まちづくり課】

事前配布資料に基づいて改訂された「春光まちづくり推進プログラム」の説明が行われた。

【会長】

以上の説明につきまして、質問や意見はありますか。

【委員】

特になし

【会長】

なければ、事務局より説明を受けたこととします。

(4) その他

【会長】

それでは、全体を通して実行委員会や事務局に確認やご意見はありますか。どのような内容でも結構です。

ご意見等がなければ次回のまち協開催の日程を決めたいと思います。

【委員】

特になし

【事務局】

日程調整の結果、次回のまち協は、5月12日（金）18：00から北部住民センターで開

催することとなった。

3 閉会